

武相荘 お能への誘いの会 〈第九回〉

テーマ

さねもり

実盛

対談で、知らなかった景色が見えてくる。

実演で、能の響きを体感する。

“あつぱれ、おのれは日本一の剛の者と組んでうずな、うれ”

〈講師〉

能楽師 シテ方喜多流

友枝雄人氏

古美術評論家・五蘊会会長・観ノ会発起人

青柳恵介氏

〈開催日〉

令和2年1月18日(土)

講演・レクチャー 16:00-17:30頃までを予定

〈参加料〉

A. 勉強会のみ 3,300円

B. 勉強会+ディナー懇親会 8,800円

〈特典〉

実盛の舞台本番、4月25日(土)開催「観ノ会」の観劇チケットを1割引でお買求めいただけます。

〈詳細・お申し込み〉

<https://buiso.com>

お電話 042-735-5732

(10時-17時/定休日 平日の月曜)

令和二年、最初の武相荘にての能楽講座は、4月25日に舞台本番をひかえる第三回観ノ会の演目「実盛」に焦点を当ててみます。

能で老武者を主人公とした曲は、他に頼政がありますが、特に本曲は歳を重ね老いることと、その中での武士の達する境地について深く触れています。

老いる事とは？時代を経ても、人間誰しもがぶつかる壁です。人生百年と言われ始めた現代、医学や科学が進んでいる傍ら、生き様については、むしろ後退しているかもしれないと感じさせる演目です。

舞台本番の観ノ会では、いろいろな角度から本曲に迫る「観ノ座」を予定しておりますが、武相荘ではそれとは別にこの曲を通じて、能楽の根本にある日本人の優れた死生観について触れてみたいと思います。

友枝雄人